

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子 です



鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833
日本共産党区議団控え室 TEL5742-6818

このニュースについてのご意見、
ご要望をお寄せください。

リニアと同じ工法で巨大陥没・空洞事故

調布市

外環道の事故現場を視察

被害住民連絡会代表の方に案内・説明いただきました。



現場は、京王線つつじが丘駅から徒歩10分もかからない閑静な住宅街。陥没事故が起きたのは、ごく普通の民家の目の前です（写真中・下）。

昨年10月、調布市で起きた外環道トンネル工事による巨大な陥没・空洞事故は衝撃でした。地下40m以上深い大深度地下工事は「地上には影響しない」と説明してきた安全神話が完全に崩れました。同じシルドマシン工法で行われる品川でも同様の事故が起こりえる。11月22日、共産党区議、鈴木・安藤・のだでの3名と地域住民有志計10名で、調布市の陥没・空洞の事故現場を「外環道被害者住民連絡会」の菊池共同代表に案内・説明をいただき、視察・調査しました。



ぶんぶん公園で菊池さんより説明を受ける。公園下にも空洞が。



上) 事故発生直後の現場
下) 今回の調査での現場

- 陥没① 幅5m×長さ3m・深さ5m
空洞① 地表面から5m下に、幅4m
長さ30m・深さ3m
- 空洞② 地表面から4m下に、幅3m
長さ27m・深さ4m
- 空洞③ 地表面から16m下に、幅4m
長さ10m・深さ4m

頭痛や吐き気、不眠などに悩まされたこと。その都度、事業者の憚れなく訴えてきましたが、工事は進められて

きました。

地域の方からの訴えに、共産党・山添拓参院議員、宮本徹衆院議員らが現地調査を行い、住民とともに工事中断を求める国交省交渉を行った矢先、11日後に陥没事故が起きました。

その後ボーリング調査などで3か所の巨大な空洞が見つかりました(表面の表に大きき記載)。

「陥没と空洞はトンネル工事が原因」―有識者委員会が認める

今年3月の有識者委員会が最終報告で、陥没・空洞とトンネル工事の因果関係を認めました。

「集団交渉は応じない」と地域を分断

㈱ネクスコは、トンネル真上の220㍍範囲に限り、30世帯をいったん立ち退かせ、更地にして地盤改良を行う方針を出しました。しかし、補償の基準も示さずに「集団交渉は応じない。個別交渉で対応する」と地域を分断するやり方です。すでに引越した家もありました。地域の被害は220㍍の範囲にとどまらず広範囲に及び、シールドマ

シンが止まって1年以上たつ今も、壁や塀の亀裂や家の傾斜、地割れなどの被害が拡大しているとのことでした。

安全神話を振りまき、事故を起こしても住民に真摯に向き合えない事業者㈱ネクスコと国交省。もともと全く問題のない地盤だったところをずたずたにしただ上、「もっと広い範囲でボーリング調査を」「集団交渉に応じて」など当然の要求にも応えない㈱ネクスコのやり方は本当にひどいと実感しました。地域では裁判も含めた大きな運動になっています。

リニアでも同様の事故が起きる!

これは他人ごとではありません。リニアでも同様の事故は起こります。大深度地下工事は住宅街の真下を通るため、基準に沿ったボーリング調査ができません。本来、シールドトンネル工事では100㍍200㍍毎にボーリング調査を行うところ、事故が起こった調布市の現場は1kmも行われていませんでした。

リニアでも、トンネル真上のボーリング調査は、品川区内4・6km中、わずか3か所です。

外環道有識者委員会の小泉委員長は「地中の1㍍先がどうなっているか、本当にわからない」と述べています。1㍍先が分らないのに、1kmもボーリング調査もしないまま、手探りで掘り進めなければならぬ、これが大深度地下の工事です。

外環道の陥没・空洞の事故から教訓を学び、「リニア新幹線は中止の決断を」の声を一緒に広げましょう。

リニア新幹線問題 学習会

12月26日(日)午後6:30~

場所: きゅりあん
7階イベントホール

講師: 山添 拓
(日本共産党・参議院議員)

リニア新幹線は品川から300㍍調査掘進(トンネル掘削工事)が始まり、来年度は本掘進の工事が予定されています。

暮れも押し迫った今年最後の日曜日ですが、この問題で鋭い国会質問を行っている山添拓参院議員を講師に、リニア新幹線の問題点や調布市の陥没事故などについて話していただきます。

お誘い合わせてご参加ください。

主催: 日本共産党品川区議団

無料 法律・生活相談会

12月16日(木)午後5:00~

鈴木ひろ子事務所

中延2-11-7 ☎3783-8833 ☎5742-6818

弁護士さんが対応します。どんな問題でもお気軽にご相談ください。